



IRIS EXPLORER

THE POWER OF TECHNOLOGY

Boston Dynamics の Spot® の機動性と、RDI Technologies の Motion Amplification®の卓越した可視性を組み合わせた Iris Explorer™ Spot Payload により、遠隔や危険な環境下でも、資産に直接次世代振動解析を行うことができます。



企業の資産管理プログラムには、動的な可動性と遠隔操作機能を備えた大容量かつ再現性の高いレートベースの振動解析ソリューションが導入されています。人間の目には見えないたわみ、変位、動き、振動を自律的に測定する Iris Explorer は、リスクを最小限に抑え、コンプライアンスの維持に役立ち、資産の信頼性とパフォーマンスを改良するために資産の投資対効果を向上させます。



特徴

オンデマンドモード

Spot@の自動歩行ミッションを作成することなく、重要な資産の評価や1回限りのデータ収集が可能。

周波数フィルタリング

時間波形とビデオのバンドパス、バンドストップ、ローパス、ハイパスフィルタリング。

安定化

フレーム全体および領域ベースの画像安定化。

モーションマップ

個々の周波数または全体的な動きの色付き画像オーバーレイを表示。

トリガー

仮想カメラベースのセンサー、ROIトリガー（波形Pk-Pk、全体のデジタルスペクトル、スペクトル周波数帯域）、手動トリガー。

自律モード

以前にプログラムしたルート呼び出し可能。スケジューリング機能は、Boston Dynamics ソフトウェアを通じて利用可能。データ測定値は、自動的に傾向を分析できます。

ビデオ注釈

ビデオにエクスポートして、文字、図形、注釈、会社ロゴを追加。

データのエクスポート

波形、スペクトル、軌道、オブジェクトパスをCSVファイルにエクスポート。

最高周波数フィルタリング

関心のある周波数を自動的に決定し、ワンクリックで複数のフィルタリングされたデータセットを作成。

動画を並べて表示

オリジナル動画と Motion Amplification@動画を並べて再生。

対話モード

ルートが作成されると、対話モードによりユーザーはアクション、トリガー、カメラビューを調整（追加、削除、修正）したり、ロボットが移動する場所を制御したりできるようになります。

時間波形、スペクトル、軌道

動画内に無制限の数の領域を描画して変位を測定できます。すべての測定は、同時に行われます。

自動カメラ制御

Mission Explorer は、フォーカスや明るさのようないくつかのカメラ設定の遠隔操作と自動化を可能にする新しいハードウェアをサポートします。

自律照明モード

照明は、毎回自動的に点灯または消灯するように設定することも、また、設定値を使用してソフトウェアに照明を点灯するかどうかを決定させることもできます。

仕様

工業用カメラ

USB 3.1、高解像度 CMOS センサー、高解像度。

MOTION AMPLIFICATION® 倍率

1-500x

取得システム

Intel i7搭載サーバ、16GB Ram、500GB ストレージ、環境密閉設計、広い動作温度範囲、耐衝撃および耐振動性、3年保証。

周波数範囲

180 fps で 0 CPM (0 Hz) から 5,400 CPM (90 Hz)

最小変位

50mm レンズ使用で、距離1mで 0.01 mils (0.25 μ m) 未満、近焦点で 0.005 mils (0.125 μ m)

分析機器

取得ソフトウェアを搭載した堅牢なタブレット (Intel Core i7、14インチ FHD 屋外表示可能タッチスクリーン、16GB RAM、1TB SSD、スタイラスペン、ハンドストラップ、3年保証)

サンプルレート

HD で 180 fps、解像度を下げた場合は最大 1,300 fps。

レンズ

16mm Varioptic レンズ